

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	No.2659 2023年 5月2日	5月8日から新型コロナウイルスが5類へ移行。5類移行に伴い生じる課題は、県職労へお寄せください。
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合		

4. 27人事課総括課長着任交渉

人事課長「公務に精励できる職場環境へ組合と継続協議」 手当改善 鳥インフル対応など増額改定を 会計年度 賃金4月遡及と任用定数の早期内示を



人事課総括課長との着任交渉に臨む県職労交渉団

4月27日、県職労は今年度着任した内城 仁人事課総括課長と交渉を行い、着任に当たっての基本姿勢やこれまでの継続課題について見解を質した。

内城人事課長は、「公務に精励できるような勤務環境を整えることが県勢の発展に資すると認識している。皆さんと十分に協議を行い、可能な限り理解と協力を得ながら行ってきた。今後も同様の姿勢で臨む」との基本姿勢を示した。主な課題に対する交渉結果は次のとおり。

○ 人員確保対策について

《県 職 労》 欠員状況と解消に向けた具体策は。

【人事課長】 4月時点の欠員数は9人。徐々に減少しているが、欠員の解消までは至っていない。人員確保に向けて、コロナの影響で休止していた大学での業務説明会を再開。また、高校生を対象とした県の出前事業の実施や大学生を対象とした「OB・OG訪問制度」の導入など、あらゆる機会を捉え、受験者の確保に向けた取り組みを進めるほか、内定者へのきめ細かなフォローにより辞退者の減少に努め、職員体制の確保を図っていく。

《県 職 労》 専門職種の人員確保状況は。

【人事課長】 総合土木（予定9名→10名採用）、社会福祉（予定6名→9名採用）は確保できたが、獣医師（予定10名→5名採用）、薬剤師（予定4名→3名採用）は予定を下回った。今後も人員確保と処遇改善を一体的に進めていく。

《県 職 労》 定数に対する欠員数以上に職場で感じている人員不足の認識は大きい。業務量に見合った人員配置を求める。



回答する内城人事課総括課長

裏面に続く

○賃金・諸手当改善について

《県 職 労》賃金水準引き上げ及び勤務意欲確保に対する基本姿勢は。

【人事課長】給与水準の改定に当たっては、人事委員会勧告を最大限尊重するとの基本姿勢のもと、その取り扱いを決定してきたこところであり、今後もその基本姿勢に変わりはない。

《県 職 労》原油高や物価高騰に伴う通勤・住居経費の自己負担が非常に多くなっている。諸手当改善に係る基本姿勢は。

【人事課長】条例事項や公民較差の算定に含まれる手当の見直しは、人事委員会勧告を受けて改定を行う必要があると認識。人事委員会と意見交換しながら対応を検討。

《県 職 労》鳥インフルエンザに係る防疫等作業手当をはじめ、当県の特殊勤務手当は他県と比較して手当額が低い。近隣各県の状況を確認のうえ、増額を求める。

【人事課長】他県、国との均衡を図りながら適切に対応を検討したい。



諸手当改善を求める
菊池中執

○会計年度任用職員制度について

《県 職 労》任用の定数を年度末ギリギリに示す現在の対応では当事者にとっては先の雇用の見通しが立てづらく、大きな不安を招いている。年度の上半期のうちに任用の定数を示すべきと考えるが見解は。

【人事課長】来年度に係る会計年度任用職員の配置決定の時期は、前年度の業務の進捗状況や職場全体の体制を踏まえて検討する必要があるほか、予算編成等の事情により、早期化は困難であるが、検討状況等は、各部局において所属に随時情報提供しながら丁寧に対応していく。

《県 職 労》昨年度の給与引き上げ改定は、一般職員の4月遡及に対し、会計年度任用職員は翌年度からの改定だった。今般、国において、非常勤職員も常勤職員に準じて4月遡及する旨の指針改正を行ったが、県も方針を改めるべきと考えるが見解は。

【人事課長】地方公務員法に定める均衡の原則に基づき、国の指針改定も踏まえ、改定方針について検討を進める。

○定年引上げについて

《県 職 労》役職定年を含む60歳超職員の働き方と暫定再任用職員の働き方の違い、60歳超職員の配置や具体的な職務内容は。

【人事課長】再任用職員は、それぞれの職員の経験や専門性を考慮しながら即戦力となる一担当として配置してきた。60歳以上の職員も同様の考え方で配置することを基本としつつ、若手・中堅職員の育成や管理職のサポートなどの役割を想定しているが、具体的な業務内容等は現在検討中。



超勤課題の改善を求める
藤村書記次長

その他、専門職種・現業職員の人員確保、人事異動内示の早期化、コロナ禍における人員体制の在り方（保健所業務支援・5類移行後の職員体制等）、超勤課題（予算確保、長時間労働の解消等）、若手職員の離職対策について交渉し、改善を求めた。



職場課題を質す遠藤中執